

「パキスタンの部族地域安定化のための政策提言研究」

シンポジウムのご案内

日時： 2011年12月21日（水）午後2時半～午後4時半（午後2時開場）

場所： 同志社大学今出川キャンパス・寧静館5階会議室

主催： 非営利特定活動法人 現代イスラム研究センター

共催： 同志社大学 アフガニスタン平和・開発研究センター

助成： 国際交流基金

日英通訳付き

パキスタンの部族地域（FATA）は、「イスラム過激派」と表現される急進的な武装集団の活動拠点となり、住民の生活水準は著しく悪化して、それが地域の若者たちが武装集団に入ることによってしか生活手段を得られない背景になっている。主要な産業がないことによって、武装集団は誘拐ビジネス、麻薬の流通など犯罪的活動によって経済的基盤を得ている。部族地域での安定を考えることは、世界の安全保障に寄与・貢献することは間違いない。過激派の活動を生んできた部族地域が抱える社会・経済的な構造問題とは何か、あるいは社会・経済的矛盾の改善のために日本など国際社会ができる貢献とは何かを、パキスタン・イスラマバードにある部族地域研究センター（FATA Research Center）と、NPO法人「現代イスラム研究センター」が共同で研究を行い、日本、またパキスタン政府、さらには国際社会に向けて政策提言を行い、部族地域、ひいては南西アジア全体の安定に貢献したいと思っている。

【報告者】

Ashraf Ali	FATA Research Center, President
Abdul Sami Yousafzai	News Week 記者
Mansur Khan Mahsud	FATA Research Center, Research Director
山本 武彦	早稲田大学政経学術院 教授
宮田 律	現代イスラム研究センター 理事長
後藤 拓也	三菱総合研究所 研究員、現代イスラム研究センター 社員

【会場】寧静館（ねいせいかん）



【同志社大学・今出川キャンパスへのアクセス】

